



本館1F倉庫からの出火を想定。
火点から近い部署の職員が、初期消火へ向います。



各病棟から患者数等を本部に報告後、消防署さんから講評をいただきました。
「重大な火災は、夜間人員が不足している時に発生している。夜間に発生した場合、適切な対応を取れるか？」等、夜間体制での火災訓練の必要性も呼びかけていた。

平成30年10月30日(火) 隣接する老健施設「友楽苑」と合同で、午後2時半から消防避難総合訓練を行いました。今年2回目です。

今回は平日の火災発生を想定した自主訓練。火事触れから通報、非常避難誘導など行いました。



模擬患者の職員と協力してくれた患者さんが、看護部職員に先導されて避難しています。



各部署の職員が消火器の取扱いを学びました。